

若葉台地区

令和6年11月30日 (iプラザ大会議室)

No.	質問内容	回答
1	道路渋滞(若葉台入口交差点から多摩東公園交差点間)対応策の検討についてとロピア渋滞にて無理なUターン・信号無視・右折できない等の問題が発生していることについて	多3・4・18号ニュータウン街路1号線の交通渋滞につきましては、これまでも道路管理者である東京都へは、都知事に対し、4車線化について直接要請するとともに、交通管理者である多摩中央警察署に対し、若葉台小学校西交差点、若葉台一丁目交差点における右折矢印信号の設置要請を行う等、渋滞解消に向けて取り組んでいる。また、現在、東京都で進めている多3・1・6号南多摩尾根幹線の本線4車線化整備に伴い、交通渋滞や安全対策解決の一助となるよう期待しているところ。
2	設置された右折専用レーンを長くしてもらいたい(手前から切り分けることで渋滞の解消につながるのではないかと考える)。	4車線化の要望に加え、その前にできることは順次行っていく。
3	若葉台地区でも進む高齢化対策について	<p>市では地域包括ケアシステムの深化・推進により、医療や介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で暮らし続けられるまちづくりを進めています。このことは、高齢者だけでなく、子育て世代や障害を持った方も含めて地域の中で共に生きていく地域共生社会の基盤になるものと考えている。</p> <p>また、若葉台地区においても、マンション単位で支え合いの取り組みを行っているところもあり、若葉台地区の第二層協議体(生活支援体制整備事業において地域課題を共有・抽出・解決等を図る会議体)においても、民生児童委員等住民代表の方に参加いただきご意見をいただきながら、住民主体による地域づくりを進めている。</p> <p>地域の高齢者対策の1つとして、各地区にふれあいセンターを設置しているが若葉台地区だけない。若葉台地区は計画都市なため、空いている場所がないという課題がある。そこで、若葉台小学校の増築分校舎を分離して、まずは2～3年後にふれあいセンターとして開設することを構想している。将来的には地域開放もしていきたい。</p>
4	プロスポーツチームとの連携強化(ジャイアンツとヴェルディとの最新情報の提供)について	<p>東京ヴェルディ応援DAYや稲城市フェスタinジャイアンツ球場といった市内のプロスポーツ団体等の試合を観戦する機会や、アスリートとふれ合う機会づくりを引き続き推進していく。</p> <p>また、令和6年度は、向陽台地区やよみうりランド駅周辺において、新たに読売ジャイアンツ応援街路灯フラッグの設置を行った。来シーズンに向けては、現在東京ヴェルディ応援街路灯フラッグを設置している若葉台駅・稲城駅を含め、市内全域にホームタウンチーム応援の気運醸成を図る装飾を検討している。</p> <p>全ての情報を市で広報するのは難しいので、最新状況は各チームのホームページをみてもらいたい。なお、東京ヴェルディ・読売ジャイアンツ以外にも、今後連携し、市民のスポーツ振興に繋げていきたい。</p>

No.	質問内容	回答
5	<p>「稲城グリーン化プロジェクト」という団体で本体験塾の講師をしている。参加者の評判も良いが、子ども体験塾がなくなるという話を聞いた。継続するには、場所取りや計画立案等を自分達で行っていく必要があると聞いた。何とか従来通りのやり方(特に昨年までは非常にサポートが良かった)を継続してもらいたい。</p>	<p>どういう位置付けで本事業を行っているか等、状況を確認し後日回答する。 城山体験学習館で実施している事業をやめるという指示はしていないが、施設運営のやり方は根本的に変更する必要がある。今後中央図書館のPFI事業が切れるため、その先の運営方法を現在検討している。その中で中央図書館だけではなく、城山体験学習館も含め全体を管理していくことを計画している。</p> <p>(タウンミーティング後) 現在、中央図書館のPFI契約終了後における城山体験学習館の運営方法の検討に伴い、いなぎ子ども体験塾を含む施設利活用のあり方について整理を行っている。この中で、利用手続面における整合性、公平性の観点から、他団体と同様に施設の予約等の事務を個別に行っていただくようお願いしているものです。</p>
6	<p>令和6年第2回定例会で幼老複合施設の陳情が否決された。幼老複合施設が重要であると考えている。</p>	<p>気持ちは分かるが、否決は結果なのでご了承願いたい。子供と高齢者の触れ合いを否定しているわけではないが、感染症や補助金等、様々な問題で難しいと考える。なお、訪問事業は現在も各所で行っており、今後も継続していきたいと考えている。</p>